

2026年6月1日  
イオン北海道株式会社

暑い日はイオンへGO！！  
6月1日（月）より、  
「イオンのクールスポット」として当社店舗を開放します！

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、6月1日（月）より、道内の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など137店舗をイオンのクールスポットとして開放します。



地球温暖化の進行に伴い、北海道内でも夏の暑さが厳しくなっており、札幌管区气象台が発表した6月から8月までの3か月予報では、道内の平均気温が平年よりも高くなる見通しと予想されています。昨年6月は、札幌市内で最高気温30度を観測するなど真夏日もあり、本格的な夏が始まりました。それに伴い本年も6月1日（月）から9月30日（水）の間、当社店舗を「イオンのクールスポット」として開放します。

「イオンのクールスポット」は、熱中症特別警戒アラートの発表有無にかかわらず、当社店舗を暑熱避難場所として開放するもので、本年も道内137店舗で施設を開放し、お客さまに店舗でお気軽に涼んでもらえるよう実施します。

また、熱中症対策の一環として、道内の各自治体と連携し、当社の施設においてもクーリングシェルター※<sup>1</sup>（指定暑熱避難施設）への指定を推進してまいります。

今後も当社は、猛暑対策を強化するとともに“猛暑から身を守る安心設計”と“猛暑でも楽しめる夏”の実現に向けた取り組みをさらに推進し、地域のお客さまが安全・快適に夏を満喫できる環境づくりに努めてまいります。

※<sup>1</sup> 冷房設備が整っており、熱中症特別警戒アラート発動時等の高温発生時に、誰でも休息に利用できる施設のことです。

## <暑い夏を快適に過ごす当社の取り組み>

### ①イオンのクールスポット

道内の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など137店舗をイオンのクールスポットとして開放しています。

「クーリングシェルター」	「イオンのクールスポット」
自治体と連携し、「熱中症特別警戒アラート」発表時における指定暑熱避難場所として施設を開放	クーリングシェルターに加えて、「熱中症特別警戒アラート」 <b>発表有無に関わらず</b> 、暑熱避難場所として施設を開放

### ②クーリングシェルター対象施設 ※6月1日（月）現在、協定締結済みの自治体

札幌市：イオンモール札幌発寒を含む62店舗 ※2  
 旭川市：イオンモール旭川西を含む8店舗 ※2  
 函館市：イオン湯川店を含む7店舗 ※2  
 帯広市：イオン帯広店を含む4店舗 ※2  
 室蘭市：イオン室蘭店 ※3  
 登別市：イオン登別店、マックスバリュ登別店 ※3  
 苫小牧市：イオンモール苫小牧を含む8店舗 ※1  
 釧路町：イオン釧路店 ※3  
 北見市：イオン北見店 ※1  
 石狩市：イオンスーパーセンター石狩緑苑台店 ※2  
 千歳市：イオン千歳店 ※3  
 小樽市：イオン小樽店、マックスバリュ手宮店 ※2  
 岩見沢市：イオン岩見沢店、ザ・ビッグ岩見沢店 ※3  
 日高町：マックスバリュ富川店 ※1  
**合計：14市町101店舗**

※1：クーリングシェルターとしての利用期間は、4月22日（水）から10月21日（水）まで 計10店舗

※2：クーリングシェルターとしての利用期間は、6月1日（月）から9月30日（水）まで 計84店舗

※3：クーリングシェルターとしての利用期間は、7月1日（水）から9月30日（水）まで 計7店舗

### ③熱中症対策アンバサダー®

「熱中症対策アンバサダー®資格」取得を推進しており、熱中症に対する正しい知識を身につけ、「お客さまへの熱中症予防アドバイス」や「安全に夏を過ごす知識」の提供を行っています。当社では300名超が取得しています。（6月1日（月）現在）

✓熱中症対策アンバサダー®を全国のイオン店舗に、1名以上配置  
 ✓各拠点のアンバサダーが店舗従業員へ熱中症に対する正しい知識を教育し、店舗全体の対応力を底上げ  
 ✓適切な応急処置を即時に行える体制を整備

「熱中症対策アンバサダー®」とは、大塚製薬が主催（後援：環境省・文部科学省・農林水産省）する熱中症対策の講座を修了し、認定された人のこと。

### 【本件に関するお問合せ先】

イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:011-865-9111